

F 水車町・旭町から旧豊平町を巡るルート

約4.4km 所要時間/約1時間15分

歩数/6,300~7,300歩

消費カロリー/約250kcal

[ショートケーキ80g1コ/約250kcal]

※消費カロリーは、体重60kgの人で普通の歩行の場合。



豊平の発祥の地から、かつて精米のために水車が回っていた水車町を巡り、きたえーるを横目に見ながら、豊平町役場跡や定山溪鉄道跡など昔なつかしい跡地をめぐるコースです。



- 凡例
- 地下鉄駅
 - 公園・緑地
 - トイレ
 - バス停
 - は中面に詳細あり

見所ポイント

F-1 志村鐵一 ゆかりの地

豊平4条1丁目

志村鐵一は安政4年(1857)頃に幕府より豊平右岸の渡船場の渡り守を命じられました。札幌市内はじめての和人の一人としてこの地に居住し、明治4年に豊平橋がかかるまでの間、専ら渡船が活躍していました。豊平の発祥の地とも言えます。



F-3 旭小学校内の水車

水車町3丁目

水車川自転車道はかつて、精米などを行うために水車が回る川です。



F-2 水車町公園

水車町1丁目

ハーブなどの花壇やベンチのある明るい公園スペースは、水車川自転車道の入り口に位置しています。菊水旭山公園通を渡り、旭小学校横を経由し、5丁目付近までつながっています。



F-4 豊平町役場跡

豊平4条6丁目1-2

北海道開拓使が設置され、本州から多くの移民が入植して、明治5年には平岸村・月寒村が明治7年には豊平村が誕生しました。明治35年に3村が合併し、豊平村(明治41年に豊平町に昇格)となり、明治43年に札幌区と合併になるまで、この地に町役場が置かれていました。

